病気とつきあいながら学ぶこどもたちへの支援活動について

滋賀県立守山養護学校は、病弱教育の特別支援学校です。病弱教育のセンター的機能を発揮し、病気とつきあいながら学ぶこどもたちを支えておられる先生方と連携し、こどもたちへのよりよい支援について一緒に考えていきたいと思い、校内に「病気とつきあいながら学ぶこどもの支援センター」を設置しています。

教育相談

児童生徒本人、保護者、学級担任、養護教諭、関係職員を対象に教育相談をしています。
病気とつきあいながら学ぶこどもが抱える様々な問題や支援について、一緒に考えます。

校園訪問相談

在籍校園に訪問させていただき、学習や支援について一緒に考えます。

- 教室の環境、学習内容（教科指導、自立活動、日常生活指導、進路指導、行事の参加、ICT 機器の活用など）についての相談
- 関係機関などの情報提供

研修

毎年、『病弱教育の専門性に係る研修会』を滋賀県特別支援教育研究会（県特研）病弱・身体虚弱教育研究部会と共同開催しています。

【開催日時】7月下旬　14 時頃から2時間程度
【講演内容】病弱・身体虚弱児童生徒に関わる様々な立場の方から、支援や教育についてご講演いただきます。

＊詳細は、5月初め頃に本校ホームページに掲載します。

「病気とつきあいながら学ぶこどもの支援センター」までご連絡ください。

TEL：　077－582－9154　　FAX:077－583－7543
✉：　moriyama-sh.shien@pref-shiga.ed.jp